

事業名：公共街路灯新設更新等事業

土木事務所道路管理課 維持係

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の 基本方針	01 安全な暮らしの確保			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和42年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内全域									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市が管理している市道道路照明について、必要な改修及び更新等を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
公共街路灯の新設・更新により、その機能の維持・向上と、夜間の地域環境の向上が図られる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市内全域面積	Km ²	187.38	187.38	187.38	187.38
対象指標 2						
活動指標 1	新設更新灯数	基	43	37	40	34
活動指標 2						
成果指標 1	公共街路灯数	基	3,291	3,292	3,325	3,421
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	16,988	31,968	42,840	33,932
正職員人件費 (B)		千円	1,553	1,534	1,541	1,544
総事業費 (A+B)		千円	18,541	33,502	44,381	35,476

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	道路照明設備点検事業により判明した老朽化による倒壊危険度が高い公共街路灯の更新、撤去	老朽化した公共街路灯の更新に係る経費 千円 33,932

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

改革方向性（成果）	向上			
	維持	○		
	低下			

事業名：空家等対策推進事業

建築指導課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	01 安全な暮らしの確保			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成30年度	終了年度	平成35年度	区分1	新規	区分2	単独	補助金	その他

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内全域の空き家									
手段（事務事業の内容、やり方）									
空き家等がもたらす課題の解消に向け、空家等対策計画に基づき、所有者等の管理意識の醸成と関係団体との連携による発生抑制及び利活用の推進を図るとともに、空き家等対策の情報発信や相談体制を整備する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
危険空き家への対応及び空き家の利活用により、安全で安心な住環境を確保する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市内全域の空き家（推計）	棟	0	0	0	300
対象指標 2						
活動指標 1	空き家に関する相談・指導件数	件	0	0	0	20
活動指標 2						
成果指標 1	管理不全な空き家の解消件数	件	0	0	0	5
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	342
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	11,583
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	11,925

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 空家等対策協議会の開催 啓発パンフレットの作成 特定空家等の認定 危険家屋の応急対応 	<ul style="list-style-type: none"> 空家等対策協議会運営経費：197千円 啓発パンフレット作成経費等：145千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
30年度への改善方向性	空き家等がもたらす課題の解消に向け、空家等対策計画に基づき、発生抑制・適正管理の推進、特定空家等への対応、利活用の推進などの空き家等対策を総合的かつ計画的に実施する。	改革方向性（成果）	減少	維持	増加
維持					○
見直し					
新規					
休止					
廃止					
その他					

事業名：河川等維持事業

土木事務所治水課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の 基本方針	02 地域防災力の向上			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和57年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市が管理する河川及び調整池									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市が管理する河川及び調整池において発生した不良箇所を解消するための工事等を行う。 1) 法面補修工事、浚渫工事 2) 管理用道路補修工事 3) 調整池における防護柵補修など									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
河川や調整池が、本来発揮すべき機能を維持する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	準用河川及び普通河川数	河川	25	25	25	25
対象指標 2	調整池数	ヶ所	27	27	27	27
活動指標 1	河川・調整池の補修等工事件数	件数	7	4	3	2
活動指標 2						
成果指標 1	河川・調整池の不良箇所数	件数	5	3	3	2
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	8,824	8,370	9,837	9,185
正職員人件費 (B)		千円	2,329	2,301	2,311	2,317
総事業費 (A+B)		千円	11,153	10,671	12,148	11,502

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	浚渫工事の実施	準用河川床ざらい工事（豊幌川） 5,269千円 集水路床ざらい・雑木伐採工事 （中樹林集水路） 2,916千円 その他緊急工事 1,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

改革方向性（成果）	向上			
	維持	○		
	低下			

事業名：排水機場維持管理事業

土木事務所治水課

政策	04 安全・安心		戦略						
取組の 基本方針	02 地域防災力の向上		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
排水機場									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市内排水機場等の点検整備・点検操作を委託で実施する事により、災害に備えた施設・設備の維持管理を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設・設備を適切に管理し、緊急時に対応できる機能を維持する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	排水機場数	箇所	19	18	18	18
対象指標 2						
活動指標 1	維持管理経費	千円	61,222	67,577	63,366	61,817
活動指標 2	施設巡回・点検回数	回	9	9	9	9
成果指標 1	不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	61,222	67,577	63,366	61,817
正職員人件費 (B)		千円	4,658	4,602	4,622	4,633
総事業費 (A+B)		千円	65,880	72,179	67,988	66,450

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	市内排水機場（18機場）の点検整備・維持修繕。緊急排水運転	市内排水機場管理委託 47,239千円 市内排水機場自家用電気工作物点検 1,015千円 市内排水機場緊急排水運転費 3,000千円 市内排水機場燃料費 1,054千円 市内排水機場光熱水費 4,558千円 市内排水機場施設等修繕費 1,940千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別河川防災ステーション管理経費 土木事務所治水課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の 基本方針	02 地域防災力の向上			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
河川防災ステーション									
手段（事務事業の内容、やり方）									
河川防災ステーションの維持・管理を行う									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設が適切に管理運営され、災害時に防災拠点として利用される。また、平常時には利用者が多目的に利用できるとともに、河川への防災意識の向上が図られる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	開設日数	日	308	308	308	308
活動指標 2						
成果指標 1	不具合件数	件数	0	0	0	0
成果指標 2	利用者数	人	83,112	78,743	78,655	78,704
事業費 (A)		千円	18,920	19,980	21,779	20,975
正職員人件費 (B)		千円	4,658	4,602	3,852	3,861
総事業費 (A+B)		千円	23,578	24,582	25,631	24,836

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
30年度	江別河川防災ステーションの維持管理	館内管理業務	13,000千円
		燃料費	1,393千円
		光熱水費	3,296千円
		施設等修繕費	500千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：耐震化推進支援事業

建築指導課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の 基本方針	02 地域防災力の向上			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成22年度	終了年度	平成32年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市耐震改修促進計画に基づく民間住宅の所有者及び、居住者又は居住予定者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
同計画に基づき耐震化を促進するために木造住宅等の無料簡易耐震診断を実施する他、「江別市木造住宅耐震改修等補助金交付に関する要綱」により専門家が行う耐震診断、補強設計及び耐震改修工事の費用の一部を補助する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
現行の耐震基準に満たない既存建築物の耐震性能の向上を図り、地震による建築物の倒壊被害から市民の生命及び財産に対する被害を未然に防止する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	対象建築物数	戸	1,390	1,390	4,656	4,656
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	0	0	1,772	2,289
活動指標 2	無料耐震診断を行った件数	件	3	15	0	3
成果指標 1	補助利用率	%	0	0	100	100
成果指標 2	補助金を受けた件数	件	0	0	7	9
事業費 (A)		千円	0	0	1,772	2,311
正職員人件費 (B)		千円	3,882	6,903	5,392	6,178
総事業費 (A+B)		千円	3,882	6,903	7,164	8,489

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・無料簡易耐震診断 ・専門家が行う耐震診断、補強設計及び耐震改修工事への補助 ・出前講座「住宅の耐震化セミナー」の実施、支援制度のPR 	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断・補強設計・耐震改修への補助 2,289千円（1/4は国費による交付金、1/2は道費による交付金） ・新規耐震パンフレットの制作・印刷 22千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性	江別市耐震改修促進計画に基づき、耐震化を促進するため、補助メニューに「補強設計」を追加し、補助金額の上限を拡大する。（新たに道費活用）			
維持		減少	維持	増加
見直し		向上		
新規		維持		○
休止		低下		
廃止 その他				

事業名：新栄団地建替事業

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市営住宅（新栄団地、野幌団地及びあけぼの団地の一部）	
手段（事務事業の内容、やり方）	
新栄団地、野幌団地及びあけぼの団地の一部を新栄団地に建替・集約する。 新栄団地建替の設計、工事、既存住宅の用途廃止等を実施する。 H30～H31 D棟建設，H32～H33 E棟建設，H34～H35 F棟建設	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
老朽化し、狭隘な住宅を建て替えることにより、入居者が安全に安心して暮らせるようにする。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市営住宅管理戸数	戸	334	280	328	296
対象指標 2						
活動指標 1	建設戸数	戸	48	0	48	0
活動指標 2	除却戸数	戸	0	54	0	32
成果指標 1	団地改善率	%	28.7	34.3	43.9	48.6
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	890,566	352,134	818,072	415,093
正職員人件費 (B)		千円	6,988	6,903	6,933	6,950
総事業費 (A+B)		千円	897,554	359,037	825,005	422,043

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 新栄団地D棟建設工事（建築工事・各種設備工事）【H30～H31継続事業】 新栄団地既存住宅除却工事 	<ul style="list-style-type: none"> 新栄団地D棟建設工事 332,872千円 新栄団地既存住宅除却工事 82,221千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別の顔づくり事業（街路事業等）

顔づくり推進室街路整備課 街路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 7年度	終了年度	平成31年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
都心地区（野幌駅周辺地区）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
・街路事業等を活用した道路整備を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・野幌駅を中心とした幹線道路網や歩行者ネットワークの整備及び交通バリアフリー化等により、安全・円滑・快適な道路網が形成される。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	都心地区の面積	ha	240	240	240	240
対象指標 2						
活動指標 1	道路整備延長	km	0.34	0	0.11	0.52
活動指標 2						
成果指標 1	事業費進捗率（累計）	%	21	34	62	78
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	205,007	529,670	748,507	666,616
正職員人件費 (B)		千円	58,230	61,360	69,327	69,498
総事業費 (A+B)		千円	263,237	591,030	817,834	736,114

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 野幌駅南通（第2工区）の用地買収、物件補償、整備工事 都市緑地等の用地買収、実施設計、整備工事 1号線の整備工事 8丁目通の整備工事 コミュニティ道路2の整備工事 野幌駅南側駐輪場の整備工事 	<ul style="list-style-type: none"> 野幌駅南通（第2工区）の整備工事 51,600千円 野幌駅南通（第2工区）の用地買収 28,177千円 野幌駅南通（第2工区）の物件補償 29,000千円 都市緑地等の用地買収費 99,101千円 都市緑地等の整備工事 154,000千円 1号線の整備工事 83,600千円 8丁目通の整備工事 27,600千円 コミュニティ道路2の整備工事 87,800千円 野幌駅南側駐輪場の整備工事 63,300千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別の顔づくり事業（野幌駅周辺土地区画整理事業） 顔づくり推進室区画整理課

政策	05 都市基盤			戦略	3 次世代に向けた住みよいいべつづくり				
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト	B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり（えべつ版コンパクトなまちづくり）				
				プログラム	① 様々なライフスタイルに対応した駅周辺の利便性の向上				
開始年度	平成 7年度	終了年度	平成36年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
土地区画整理事業施行地区（野幌駅周辺地区）	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<p>・土地区画整理事業により、道路・駅前広場等の公共施設の整備や宅地の再配置を行う。</p> <p><事業内容></p> <p>（施行地区面積）約10.6ha （事業施行期間）H18～H36 ※清算期間5ヵ年含む</p> <p>（公共施設整備）都市計画道路、駅前広場等 （仮換地指定計画筆数）111筆 ※宅地の再配置筆数</p> <p>（物件移転計画棟数）92棟 （事業費）約7.5億円 ※人件費除く</p>	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
<p>・野幌地区の南北市街地の一体化など、利便性が高く快適な中心市街地を形成するため、駅周辺の公共施設等の整備改善を図る。</p>	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	施行地区の面積	ha	10.6	10.6	10.6	10.6
対象指標 2						
活動指標 1	仮換地指定を行った筆数（累計）	筆	94	111	111	111
活動指標 2	物件移転を行った棟数（累計）	棟	82	86	92	92
成果指標 1	事業費進捗率（累計）	%	74	80	90	99
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	828,166	448,183	495,245	472,553
正職員人件費 (B)		千円	77,640	69,031	69,327	61,776
総事業費 (A+B)		千円	905,806	517,214	564,572	534,329

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 野幌駅前南口広場、コミュニティ道路、東西グリーンモール整備工事 換地計画策定委託 	<ul style="list-style-type: none"> 道路等工事費 410,659千円 換地計画策定等委託費 55,610千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：公園管理事業

都市建設課 公園係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
公園・緑地									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理及び管理運営を指定管理者に委任する。 公園施設長寿命化計画に基づき、遊具等の改築を国の補助を受けて実施する。（補助率：1/2） 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設の維持管理・管理運営を適切かつ効率的に行い、市民が快適で安全に憩える公園・緑地とする。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	公園緑地数	箇所	230	230	230	230
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理料	千円	153,502	153,349	153,349	154,259
活動指標 2	改築遊具・施設数	基	1	2	3	5
成果指標 1	不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標 2	累計改築遊具数	基	1	3	6	11
事業費 (A)		千円	203,233	206,443	252,310	261,770
正職員人件費 (B)		千円	15,140	14,957	15,021	16,602
総事業費 (A+B)		千円	218,373	221,400	267,331	278,372

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による管理運営 公園施設長寿命化計画に基づく遊具等改築及び予防保全 遊具等の公園施設修繕 アダプトプログラム 樹木管理（剪定、伐採等） 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理料 154,259千円 改築関係工事費 59,000千円 維持補修関係工事費 10,000千円 維持補修関係委託料 19,450千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
30年度への改善方向性	施設の老朽化度合いや利用状況等を踏まえ、遊具以外の施設についても補助事業による改築を実施する。	改革方向性（成果）	減少	維持	増加
維持				○	
見直し					
新規					
休止					
廃止 その他					

事業名：市民参加による公園づくり事業

都市建設課 公園係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成15年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民参加による再整備公園									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化計画に基づき、再整備が必要な公園の全面改修整備を国の補助を受けて実施する。（補助率：1/2） 整備内容については地域の子ども達や自治会の参加によるワークショップ会議により計画する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> 市民協働のシンボルとして地域に親しまれる公園にする。 公園再整備に併せて、公園施設のバリアフリー化を図ることで、誰もが利用しやすい公園にする。 									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	再整備公園数	カ所	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	ワークショップ開催数	回	4	4	4	4
活動指標 2						
成果指標 1	累計整備公園数	カ所	12	13	14	15
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	39,600	44,804	43,476	55,126
正職員人件費 (B)		千円	6,211	6,136	6,162	6,178
総事業費 (A+B)		千円	45,811	50,940	49,638	61,304

30年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	<ul style="list-style-type: none"> おうぎまち公園再整備工事（大麻扇町） 面積：約0.2ha 内容：遊具更新、バリアフリー化等 公園再整備に向けたワークショップ及び実施設計 	<ul style="list-style-type: none"> 整備工事費 50,100千円 一般委託料 5,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：町名板再整備事業

開発指導課 開発指導係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> ・市民 ・来訪者 									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ol style="list-style-type: none"> 1. 市街化区域内の角地や町名界にある建物に所有者の同意を得た後、街区型町名板を貼付 2. これまで設置した信号機型町名板等について点検を行い、安全性を確認する 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市民及び市内来訪者等に町名や地番をわかりやすい状態にする									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民	人	119,587	119,250	119,250	118,979
対象指標 2						
活動指標 1	街区型町名板整備数	枚	108	222	241	210
活動指標 2	信号機型町名板等点検数（平成28年度から）	ヶ所	0	18	15	16
成果指標 1	所在確認の問い合わせ件数	件	12	9	9	8
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,845	1,703	1,845	1,716
正職員人件費 (B)		千円	2,717	3,835	3,852	3,861
総事業費 (A+B)		千円	4,562	5,538	5,697	5,577

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 街区型町名板 ～住民及び来訪者の利便性を図る ・市民要望による街区型町名板の貼付 ・未貼付箇所等現況調査及び意向確認、貼付 2. 信号機型町名板 ～住民及び来訪者の安全性を図る ・これまで設置した信号機型町名板の点検を行い、安全性を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・街区型町名板整備費 886千円 ・信号機型町名板点検費 830千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名： 団地集会所維持管理経費

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
団地集会所	
手段（事務事業の内容、やり方）	
団地集会所の維持・管理	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
集会所利用者が安心して利用できる。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	施設数	箇所	5	5	5	5
対象指標 2						
活動指標 1	利用可能日数	日	308	308	308	308
活動指標 2						
成果指標 1	集会所使用件数	件	481	513	550	550
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,690	2,778	2,899	3,041
正職員人件費 (B)		千円	776	767	770	772
総事業費 (A+B)		千円	3,466	3,545	3,669	3,813

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・ 団地集会所の維持管理	・ 集会所管理人報酬 1,800千円 ・ 集会所燃料費 109千円 ・ 集会所光熱水費 750千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：市営住宅管理経費

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市営住宅入居者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市営住宅の家賃決定、入居者募集、選考及び決定、家賃及び敷金の徴収、徴収猶予及び減免、模様替え等の承認、明け渡し請求などの処分、入居相談、世帯人数と住戸規模のミスマッチ解消の実施。施設の維持保全及び一般修繕。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市営住宅が適切に管理され、入居者が快適に生活できる（政策空家を除く）。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市営住宅入居戸数	戸	1,000	984	1,020	1,000
対象指標 2	市営住宅入居者数	人	1,996	1,950	2,050	2,000
活動指標 1	維持修繕受付件数	件	500	511	550	550
活動指標 2						
成果指標 1	入居率	%	84.6	83.8	86.9	85.2
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	46,228	46,758	46,887	51,692
正職員人件費 (B)		千円	13,199	13,039	13,095	13,127
総事業費 (A+B)		千円	59,427	59,797	59,982	64,819

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 住宅の小規模修繕 住宅設備の保守点検 家賃の決定及び徴収・滞納整理 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅の修繕費 20,000千円 保守点検等の委託費 17,643千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名： 弥生団地大規模改善事業

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成25年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市営住宅（弥生団地）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市営住宅長寿命化計画に基づき、弥生団地の大規模改善工事を計画的に実施する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
弥生団地の大規模改善工事を計画的に実施することにより、入居者が安全に安心して暮らせる市営住宅を供給する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市営住宅管理戸数	戸	223	223	223	223
対象指標 2						
活動指標 1	外部改修戸数	戸	55	24	0	24
活動指標 2	設備改修戸数	戸	0	24	24	24
成果指標 1	団地改善率（改修戸数／延べ改修戸数）	%	20.6	30.1	34.9	44.5
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	13,230	98,245	26,315	131,151
正職員人件費 (B)		千円	776	767	770	772
総事業費 (A+B)		千円	14,006	99,012	27,085	131,923

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 弥生団地D棟外部改修工事（屋根改修、外壁塗装、アルミサッシ化等） 弥生団地C棟給水設備改修工事 	<ul style="list-style-type: none"> 弥生団地D棟外部改修工事 104,750千円 弥生団地C棟給水設備改修工事 24,878千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：住宅取得支援事業

建築指導課

政策	05 都市基盤			戦略	3 次世代に向けた住みよいえつづくり					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト	B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり(えつ版コンパクトなまちづくり)					
				プログラム	③ 高齢者等がいいききと活動しやすい居住環境の充実					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	その他	

事務事業の目的と成果									
対象(誰、何に対して事業を行うのか)									
親と同居・近居して住宅を取得又はリフォームを希望する世帯及び住宅取得を希望する多子世帯									
手段(事務事業の内容、やり方)									
補助金交付要綱に基づき、以下の要件に該当する方に対し、住宅取得費・リフォーム費用の一部を助成する。 ・親と同居又は近居のために住宅を取得する方 ・親と同居するためにリフォームする方 ・住宅を取得する多子世帯(18歳未満の子が2人以上いる世帯)									
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)									
多世代同居・近居支援による転出抑制、多子世帯支援による転入促進・転出抑制を図り、高齢・子育て世帯の定住化を進める。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	親と同居等して住宅取得等を希望する世帯及び住宅取得を希望する多子世帯数(特定不能)	世帯	0	0	0	0
対象指標2						
活動指標1	交付申請受付件数	件	0	162	187	260
活動指標2						
成果指標1	支援により定住した世帯数	世帯	0	150	187	260
成果指標2						
事業費(A)		千円	0	39,900	50,484	70,000
正職員人件費(B)		千円	0	11,505	5,392	8,494
総事業費(A+B)		千円	0	51,405	55,876	78,494

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 親と同居又は近居のための住宅取得費用助成 親と同居するためのリフォーム費用助成 多子世帯への住宅取得費用助成 	住宅取得費、リフォーム費用の一部助成：70,000千円

改革案(2月時点)		改革方向性(コスト)		
30年度への改善方向性	転入促進・転出抑制による定住化をより一層促進するため、支援世帯数を拡大する。	減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：道路景観づくり推進事業

土木事務所道路管理課 管理係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> ・市内の道路 ・違反広告物 									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・北海道屋外広告物条例に違反するはり紙、はり札及び立看板を除却する。 ・広告主への除却指導（年数回） ・違反広告物の除却（年10回） ・石狩振興局へ除却数を報告（年2回） 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
道路の美観風致の維持、整然とした街並みとなるために違反広告物を放置しづらくなる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市内の国道・道道・市道実延長	km	863	865	865	867
対象指標 2						
活動指標 1	広告主への指導件数	件	1	4	4	4
活動指標 2						
成果指標 1	違反広告物の除却数	枚	1,716	523	1,000	500
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,324	1,327	1,329	989
正職員人件費 (B)		千円	1,553	1,534	1,541	1,544
総事業費 (A+B)		千円	2,877	2,861	2,870	2,533

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広告主への除却指導 ・ 違反広告物の除却 ・ 石狩振興局へ除却数を報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 軍手等の消耗品 19千円 ・ 除却活動員の保険 5千円 ・ 公告調査、除却委託経費 965千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
30年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加
向上					
維持		○			
低下					

事業名：大麻市営駐車場管理経費

土木事務所道路管理課 管理係

政策	05 都市基盤		戦略						
取組の 基本方針	02 交通環境の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
大麻市営駐車場									
手段（事務事業の内容、やり方）									
指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
低廉な料金で駐車できる駐車場を確保することにより、駅周辺の路上駐車車の削減を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理料	千円	8,489	8,489	8,489	10,270
活動指標 2						
成果指標 1	年間延べ利用台数	台	47,797	46,999	47,000	47,000
成果指標 2	苦情件数	件	0	0	0	0
事業費 (A)		千円	8,489	8,489	8,489	10,270
正職員人件費 (B)		千円	2,329	2,301	2,311	2,317
総事業費 (A+B)		千円	10,818	10,790	10,800	12,587

30年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	市営駐車場の運営 施設の管理運営を指定管理者に委託する。	指定管理料 10,270千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
30年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加
向上					
維持					○
低下					
改革方向性（成果）					

事業名：自動車対策事業

土木事務所道路管理課 管理係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
放置自動車	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・市の道路パトロール及び市民の通報により撤去。 ・所有者が確認できない場合は、市の負担で行う。 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
放置自動車により生じる障害の除去	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	放置自動車台数	台	1	0	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	市が撤去した放置自動車数	台	0	0	1	1
活動指標 2	所有者が撤去した台数	台	1	0	0	0
成果指標 1	放置自動車撤去率	%	100	100	100	100
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	92	53
正職員人件費 (B)		千円	388	384	385	386
総事業費 (A+B)		千円	388	384	477	439

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	放置自動車の撤去	リサイクル料、搬送料 53千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：自治会排雪支援事業

土木事務所雪対策課

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
排雪指定路線以外の市道									
手段（事務事業の内容、やり方）									
自治会主体で実施する排雪作業に対し、ロータリ除雪車（車両のみ）とダンプトラック（車両と運転手）を貸与する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
自治会区域内の排雪作業を支援し、交通の確保を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市道総延長	km	831	832	832	832
対象指標 2						
活動指標 1	排雪延長	km	345	345	346	346
活動指標 2						
成果指標 1	自治会排雪実施率	%	76	76	76	77
成果指標 2	自治会排雪実施自治会数	自治会	98	100	100	101
事業費 (A)		千円	130,462	170,184	200,656	202,000
正職員人件費 (B)		千円	6,988	4,986	6,933	5,019
総事業費 (A+B)		千円	137,450	175,170	207,589	207,019

30年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	・自治会排雪実施にかかる作業車両の支援	・ダンプトラック／ロータリ除雪車の支援費用 202,000 千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
30年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	改革方向性（成果）	向上	減少	維持	増加
維持						
見直し						
新規						
休止						
廃止						
その他						

事業名：除排雪事業

土木事務所雪対策課

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
公共除排雪対象の市道及び公共施設等									
手段（事務事業の内容、やり方）									
午前1時までの降雪量が10cmを超えるなど、朝方迄に除雪作業が必要と予想される場合、午前7時迄に全作業を完了するよう除雪作業を行う。 また、道路幅員の狭窄、路肩の雪堤状況等諸条件から総合的に判断し、運搬排雪作業を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
冬期間の円滑な道路交通網を確保する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	市道総延長	km	831	832	832	832
対象指標2						
活動指標1	除雪延長	km	728	729	728	729
活動指標2	排雪延長	km	120	120	120	121
成果指標1	降雪・吹雪による交通止めとなった箇所数	箇所	2	0	0	0
成果指標2						
事業費(A)		千円	631,795	765,407	926,434	928,397
正職員人件費(B)		千円	19,410	23,394	19,258	23,166
総事業費(A+B)		千円	651,205	788,801	945,692	951,563

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・除排雪事業委託	・除排雪事業委託 843,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：私道除雪補助金

土木事務所雪対策課

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
一般通行の用に供する私道									
手段（事務事業の内容、やり方）									
自治会が行う私道除雪について、市が算定する補助基準額の2分の1以内の額を自治会に補助する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
私道における冬期間の交通確保を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	私道除雪申請延長	km	1.62	1.58	1.58	1.54
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	850	941	1,388	1,178
活動指標 2						
成果指標 1	私道除雪延長	km	1.62	1.58	1.58	1.54
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	850	941	1,388	1,178
正職員人件費 (B)		千円	776	384	770	386
総事業費 (A+B)		千円	1,626	1,325	2,158	1,564

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・私道除雪補助金10自治会	・私道除雪補助金 1,178千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：不法投棄対策事業（市道）

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成17年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市道									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市道に不法投棄された投棄物について、巡回を行い処理する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
不法投棄物を処理することにより、道路の機能及び景観を維持するとともに、さらなる不法投棄発生を抑止する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市道延長	km	831	832	832	832
対象指標 2						
活動指標 1	巡回回数	回	12	12	12	12
活動指標 2						
成果指標 1	不法投棄物延べ処理件数	件	247	373	170	170
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	4,792	3,666	4,800	4,650
正職員人件費 (B)		千円	776	767	770	772
総事業費 (A+B)		千円	5,568	4,433	5,570	5,422

30年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	不法投棄物の巡回、回収、運搬、分別の委託業務	不法投棄対策委託業務 4,650千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
30年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持		○	
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：道路橋梁管理経費（臨時）

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市道	
手段（事務事業の内容、やり方）	
老朽化による施設の更新等の修繕工事	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
道路施設を常に良好な状態に保ち道路の走行性及び安全性を確保し、道路の利用者が安心して通行できる道路を維持する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市道総延長	km	831	832	832	832
対象指標 2						
活動指標 1	実施延長	km	4	2.8	2.1	2.5
活動指標 2						
成果指標 1	道路維持管理上の不具合件数	件	999	877	800	800
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	619,663	440,991	437,005	407,818
正職員人件費 (B)		千円	16,304	13,806	13,865	13,900
総事業費 (A+B)		千円	635,967	454,797	450,870	421,718

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 工事路線現況測量 路面凍上改修工事、道路再整備工事等 	委託費 12,797千円 使用料 788千円 工事費 389,700千円 投資関係備品購入費 1,011千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

改革方向性(成果)

向上
維持
低下

○

事業名：道路橋梁管理経費（経常）

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤		戦略						
取組の 基本方針	02 交通環境の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市道	
手段（事務事業の内容、やり方）	
道路の損傷箇所の修繕・復旧対応	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
道路施設を常に良好な状態に保ち、道路の走行性及び安全性を確保し、道路の利用者が安心して通行できる道路を維持する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市道総延長	km	831	832	832	832
対象指標 2						
活動指標 1	市道管理延長	km	831	832	832	832
活動指標 2						
成果指標 1	道路維持管理上の不具合件数	件	999	877	800	800
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	155,171	155,120	150,080	146,800
正職員人件費 (B)		千円	10,093	9,588	9,629	9,653
総事業費 (A+B)		千円	165,264	164,708	159,709	156,453

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 路面清掃委託 道路草刈委託 道路維持作業委託 舗装補修工事 原材料費（砂利、常温合材等） 	<ul style="list-style-type: none"> 委託費 53,800千円 工事費 76,000千円 原材料費 17,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：ロードヒーティング管理経費

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤		戦略						
取組の 基本方針	02 交通環境の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
路面融雪施設									
手段（事務事業の内容、やり方）									
冬季間において巡回、点検を実施し、正常に作動しているかどうかの確認									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
ロードヒーティングを適切に管理し、円滑な移動を可能にし、市民の安全性、利便性、快適性を高める。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	ロードヒーティング延長	m	1,197.6	1,197.6	1,197.6	1,169.2
対象指標 2	ロードヒーティング面積	m ²	6,765.5	6,765.5	6,765.5	6,606.5
活動指標 1	巡回・点検回数	回	16	16	16	16
活動指標 2						
成果指標 1	管理上の不具合件数	件	4	6	0	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	29,984	34,720	35,890	33,890
正職員人件費 (B)		千円	776	767	770	772
総事業費 (A+B)		千円	30,760	35,487	36,660	34,662

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度 ・光熱水費 ・施設等修繕費 ・委託費他	・光熱水費 32,300千円 ・施設等修繕費 500千円 ・委託費他 1,090千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下
			○	

事業名：橋梁長寿命化修繕事業

都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市内の橋梁									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・江別市橋梁長寿命化修繕計画（平成25年2月19日策定）に基づき修繕工事を実施する。 ・事業の進め方については、5年を目途に定期点検を実施し、工事の優先性を検証することにより、効率的かつ効果的に計画を進める。 ・社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6／10） 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
計画的な予防修繕による橋梁の延命化（長寿命化）を図ることで、修繕費用等を縮減する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	橋梁（市道）	橋	155	155	155	147
対象指標2	修繕が必要な橋梁数	橋	46	46	46	38
活動指標1	当該年度修繕対象橋梁数	橋	1	1	2	5
活動指標2						
成果指標1	修繕工事が完了した橋梁の割合	%	6.52	8.7	13	29
成果指標2						
事業費（A）		千円	68,558	74,273	75,152	104,000
正職員人件費（B）		千円	6,211	4,986	6,548	6,950
総事業費（A+B）		千円	74,769	79,259	81,700	110,950

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁修繕工事実施設計 ・橋梁修繕工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕工事実施設計 51,000千円 ・修繕工事 53,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
30年度への改善方向性	平成25年2月に策定した江別市橋梁長寿命化修繕計画では、遠方目視による点検結果に基づき、全155橋のうち修繕対象橋梁を46橋と判定したが、平成26年の道路法等の一部改正により義務化された、5年に1回の近接目視による点検を全橋梁で実施した結果と、橋梁の取り扱い定義が統一されたことにより、橋梁数が全147橋、修繕対象38橋に修正した。	減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上		○
見直し			維持		
新規			低下		
休止					
廃止					
その他					

事業名：道路施設再整備事業

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	道路施設全般
手段（事務事業の内容、やり方）	道路施設において、総点検を行い現状の状況を把握する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	今後老朽化する道路施設全般について、総点検を行い、落下、倒壊等の恐れのあるものは改修、修繕を図り第三者への被害を防止する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	道路施設数	箇所	209	212	212	212
対象指標 2	点検対象道路延長	k m	0	0	0	0
活動指標 1	道路施設点検件数	箇所	9	11	0	0
活動指標 2	道路路面調査延長	k m	0	0	0	0
成果指標 1	改修、修繕箇所数	箇所	0	0	0	1
成果指標 2	改修、修繕延長	k m	0	1.1	2.2	2.5
事業費 (A)		千円	7,254	145,640	175,450	187,000
正職員人件費 (B)		千円	2,329	4,602	4,622	4,633
総事業費 (A+B)		千円	9,583	150,242	180,072	191,633

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・大型カルバート修繕工事 ・舗装修繕工事 	委託費 16,500千円 工事費 170,500千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：道路橋梁再整備事業

都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成27年度	終了年度	平成30年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市内の幹線道路（市道）	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> 路面性状調査の結果、損傷度が高いと評価された路線について、路盤改良やオーバーレイ舗装等の再整備を実施する。 社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6／10） 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
<ul style="list-style-type: none"> 冬期間の凍上や老朽化等により損傷した道路について、修繕を行い、車両等の安全な通行環境を確保する。 	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	再整備が必要な幹線道路	km	0.36	0.36	0.36	0.36
対象指標2						
活動指標1	当該年度の再整備の対象幹線道路	km	0.03	0.14	0.14	0.05
活動指標2						
成果指標1	再整備が完了した幹線道路の割合	%	8.3	47.2	86	100
成果指標2						
事業費 (A)		千円	8,575	30,942	55,300	28,765
正職員人件費 (B)		千円	3,494	4,986	5,777	3,089
総事業費 (A+B)		千円	12,069	35,928	61,077	31,854

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 兵村9丁目通り物件調査 兵村9丁目通り道路改修工事 	<ul style="list-style-type: none"> 兵村9丁目通り物件調査 960千円 兵村9丁目通り道路改修工事 26,965千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：百間境道路整備事業

都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	未整備の百間境道路（市道）
手段（事務事業の内容、やり方）	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路等公共施設のアクセスとして歩道の整備を行う。 ・社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6／10）
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道の整備及び狭隘部の解消など生活幹線道路として必要な整備を行う。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	整備が必要な生活幹線道路	km	0	0.37	0.37	0.84
対象指標 2						
活動指標 1	当該年度の整備対象である生活幹線道路	km	0	0.05	0.16	0.16
活動指標 2						
成果指標 1	整備が完了した生活幹線道路の割合	%	0	13.5	43.2	44
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	31,488	96,522	78,217
正職員人件費 (B)		千円	0	4,986	6,162	6,178
総事業費 (A+B)		千円	0	36,474	102,684	84,395

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・元江別66号道路実施設計 ・元江別66号道路用地確定測量 ・元野幌274号道路整備工事に伴う用地取得及び物件補償 ・元野幌274号道路整備工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・元江別66号道路実施設計委託 7,030千円 ・元野幌66号道路用地確定測量 6,375千円 ・元野幌274号道路整備工事 52,000千円 ・元野幌274号道路整備工事に伴う用地取得 3,680千円 ・元野幌274号道路整備工事に伴う物件補償 4,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性	市内を東西に走る生活幹線道路（通称、百間境道路）として未整備であった3路線のうち、元野幌274号道路については平成28年度から事業着手しているが、これに加えて、地元自治会からの強い整備要望を受けていた元江別66号道路についても、平成30年度から事業着手する見通しとなったことから、整備対象路線延長に0.47kmを追加した。	減少	維持	増加
維持		改革方向性（成果）	○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：高砂駅周辺整備事業

都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成28年度	終了年度	平成30年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
高砂駅北側の鉄西線（市道）	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・高砂駅北側に、送迎車両用の駐車場を整備するため、J R協議（各種指定解除）、用地確定測量、支障木の伐採、埋蔵文化財発掘事前調査、埋蔵文化財発掘調査、駐車場整備の6項目を実施する。 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
<ul style="list-style-type: none"> ・高砂駅北側の市道に、送迎車両が停車することによる車両渋滞の改善策として、駐車場の整備を行い、高砂駅周辺の通行環境の改善を図る。 	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	駐車場整備箇所	箇所	0	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	当該年度の実施対象項目数	項目	0	3	2	1
活動指標 2						
成果指標 1	実施済み項目の割合	%	0	50	83	100
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	28,007	15,433	43,000
正職員人件費 (B)		千円	0	2,301	2,311	3,475
総事業費 (A+B)		千円	0	30,308	17,744	46,475

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・整備範囲周辺の環境調査（鳥類） ・高砂駅北側の駐車場整備工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境調査委託（鳥類） 3,000千円 ・高砂駅北側の駐車場整備工事 40,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：兵村4番通り道路整備事業

都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト				
				プログラム				
開始年度	平成30年度	終了年度	平成31年度	区分1	新規	区分2		補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	兵村4番通りの一部未整備区間
手段（事務事業の内容、やり方）	<ul style="list-style-type: none"> ・狭隘となっている歩道の拡幅と、路面状態の悪い車道の改修を行う。 ・社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6／10）
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	<ul style="list-style-type: none"> ・狭隘している歩道の拡幅および、路面状態の悪い車道の整備を行い、幹線道路として安全・快適に通行できる空間を確保する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	整備が必要な道路延長	km	0	0	0	0.15
対象指標2						
活動指標1	当該年度に整備する道路延長	km	0	0	0	0.07
活動指標2						
成果指標1	整備が完了した道路延長	km	0	0	0	0.07
成果指標2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	33,113
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	3,089
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	36,202

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・兵村4番通り用地確定測量などの調査 ・兵村4番通り実施設計および整備工事 ・兵村4番通り整備工事に伴う用地取得 	<ul style="list-style-type: none"> ・兵村4番通り用地確定測量委託 627千円 ・兵村4番通り物件調査委託 951千円 ・兵村4番通り実施設計委託 3,089千円 ・兵村4番通り整備工事 27,430千円 ・兵村4番通り整備工事に伴う用地取得 603千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性	兵村4番通りは、平成31年度に完成予定の道道大麻東雁来線（通称、北回り道路）に接続する、交通量の多い幹線道路であるが、車道の路面状態が悪く、且つ歩道が狭隘している未整備区間があること、また大麻小学校の通学路として歩道の拡幅を含めた安全対策が求められていることから、未整備区間の道路整備を行い安全・快適な通行空間を確保する。	減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止 廃止 その他				